

(社) 日本家政学会家政学原論部会行動計画 (2009-2018)

(社) 日本家政学会家政学原論部会は、部会設立 50 周年に向けて、以下に掲げる目標と目標達成のための行動計画を策定する。

目 標

- A. 日本の家政学が、明確な「家政学観」をふまえた研究がなされるよう尽力すること。
- B. 家政学原論の研究・教育・普及（社会貢献）活動の体制を充実させること。
- C. 部会員の研究・教育・普及（活動）を支援すること。

行 動 計 画

目標 A. 日本の家政学のために：

- 1. “Out of Scope”と言われない研究目的の設定に関する議論や指針を作成する。
- 2. 家政学原論部会の夏期セミナー等で得られた成果をもとに、(社) 日本家政学会年次大会などの折に、部会企画の提案を積極的に行う。
- 3. 他の部会等と連携したセミナー企画や研究を推進する。
- 4. 部会外への情報発信の機会を充実させる。

目標 B. 家政学原論のために：

- 1. 目標 A や C とリンクさせた家政学や（家庭）生活に関する理論の再構築を進める。
- 2. 家政系学部・大学院の教員・学生向けに、わかりやすいパンフレットやテキストを作成する。
- 3. 学部や大学院に家政学原論（講義科目）の設置を求める働きかけを対外的に行っていく。

目標 C. 部会員ののために：

- 1. 部会員の「家政学原論」の授業改善のための取り組みなどを部会報やセミナー等で取り上げ、情報を共有する。
- 2. 部会員の専門領域における活動を部会報やセミナー等で取り上げ、活動を支援する。
- 3. 若手研究者の活動を支援するための取り組みを検討する。

上記の目標及び行動計画の達成状況については、部会設立 50 周年の際に、評価・検討を行い、それ以降の部会の活動計画に反映させる。

図1 家政学原論部会行動計画2009-2018・研究の柱, 具体的ゴール, 目標

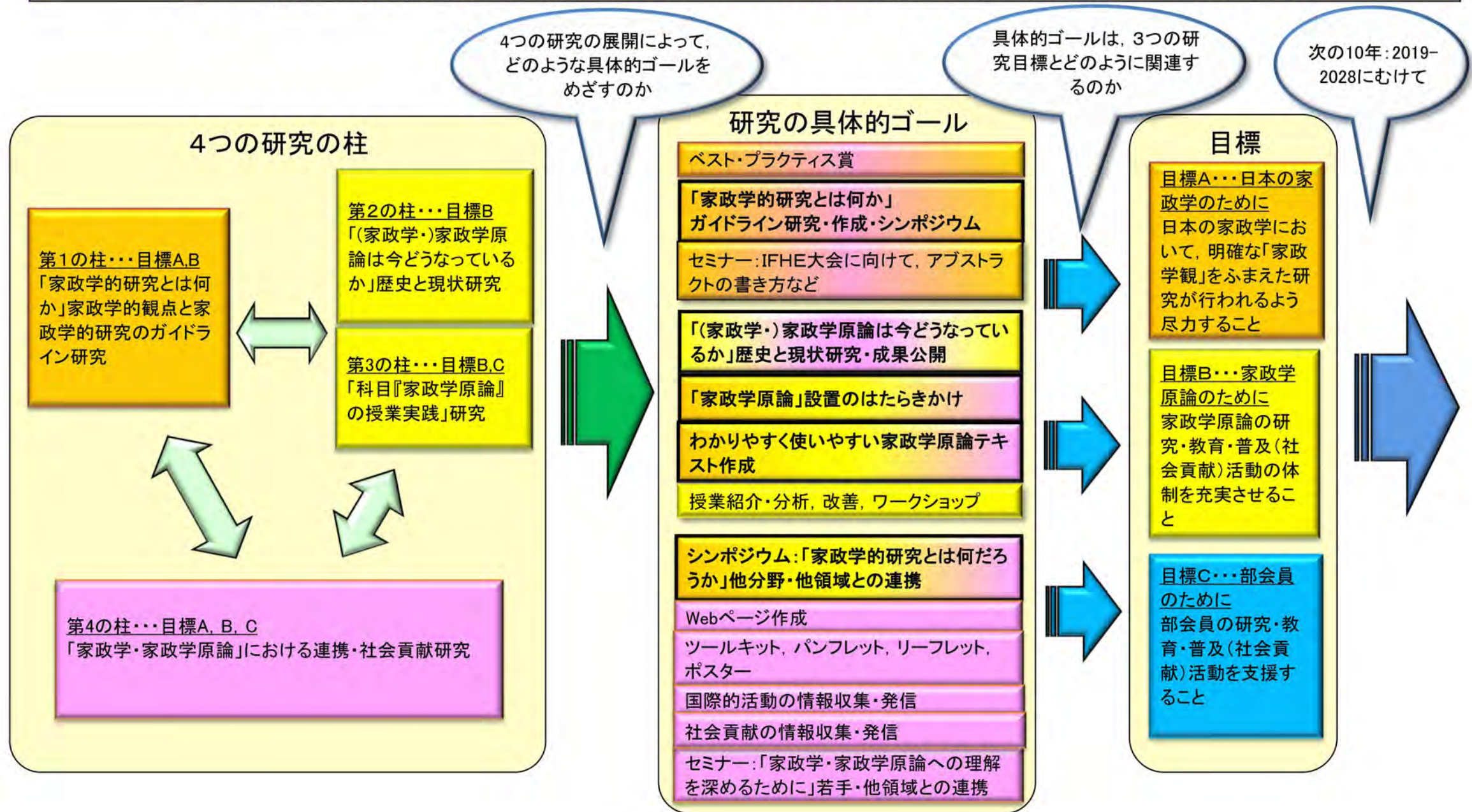


図2 家政学原論部会行動計画2009-2018・タイムテーブル

家政学会70周年
家政学原論部会50周年

